

きれい 甲斐

No.76 MARCH 2017

環境パートナーシップやまなしは、県民・事業者・行政のパートナーシップ（協働）のもと、団体間の連携や情報交換の場づくりなどを通じて、自主的な環境保全活動を積極的に展開していくことを目的として様々な活動を行っています。

環境保全に関する活動を積極的に行っている団体、個人のみなさまのご入会をお待ちしています。

環境パートナーシップやまなし

事務局 ●〒400-8501 山梨県甲府市丸の内1丁目6-1 山梨県森林環境総務課内
TEL.055-223-1657 FAX.055-223-1636 ✉sinkan-som@pref.yamanashi.lg.jp

ホームページ [「パートナーシップやまなし」検索](#)



古紙配合率100%再生紙を使用しています

発行責任者 ●企画委員長 河野行秀

やまなし環境活動推進ネットワーク フォーラムを開催しました



《活動報告》

環境パートナーシップやまなしは、1月29日（日）に「やまなし環境活動推進ネットワークフォーラム」を公益財団法人やまなし環境財団との共催で開催しました。

当日は約140名の方々に参加していただき、午後1時から4時まで環境保全に向けた取り組みについて活発な情報交換がなされました。

前半では、環境保全に向けた活動を実践している3団体から日頃の活動内容について発表していただきました。

認定特定非営利活動法人日本釣り環境保全連盟

～今の環境を次世代に引き継ぐために～

最初に「認定特定非営利活動法人日本釣り環境保全連盟」からは、「今の環境を次世代に引き継ぐために」と題して、団体の活動を発表していただきました。ダイバーによる手作業での湖底清掃、環境にやさしい素材の釣り具・エコタックルの使用啓発、釣りと環境保全の公平な指導ができる釣り場環境保全リーダーである「フィッシング・エコ・リーダー」の育成など次世代に向けた取り組みを今後も進めていきたいとのことでした。



日本野鳥の会 甲府支部

～やまなし野鳥の会・日本野鳥の会甲府支部の活動について～

「日本野鳥の会 甲府支部」からは、「やまなし野鳥の会・日本野鳥の会甲府支部の活動について」と題して、団体の活動を発表していただきました。野鳥は環境のバロメーターであり、南アルプスのライチョウを例に挙げて、地球温暖化が進んでいくとライチョウの生息地域が減少し、絶滅の危機迎えるので、地球温暖化防止のために、できることからエコライフを始めようとのことでした。



リサイクル推進ネットワークひまわり

～地域の中において手作りで進めてきた活動 ～実践できることから始めよう～

「リサイクル推進ネットワークひまわり」からは、「地域の中において手作りで進めてきた活動 ～実践できることから始めよう～」と題して、団体の発表をしていただきました。リサイクルショップを常設し、古紙をトイレトーパーに交換する活動や、地域でのフリーマーケットに参加する、先進地の視察を行い交流を深めるなど、「もったいない」を合言葉に、活動を通じた人との出会いや、地域づくりの輪を拡大するといった活動をしているとのことでした。



＜ポスターセッションによる交流＞

後半では、今年度、初の企画として、ポスターセッションを行い、若宮賞受賞者、補助金助成団体、高校生、行政から10の個人・団体がポスターセッションを行いました。若い世代を代表し、北杜市立甲陵高校と山梨英和高校自然科学同好会が参加しました。

鳥屋尾運営委員がコーディネーターとして進行していただき、各個人・団体の作成したポスターを基に、日頃の活動内容・課題・これからの展望などについて3分間の発表を行いました。

その後交流時間として、発表者と参加者相互の活発な情報交換が行われました。

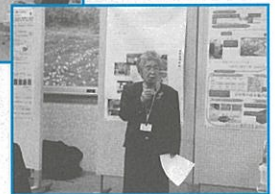
最後にポスターの投票を行い、最優秀賞に、水質特性と地質との研究を行った北杜市立甲陵高校 水「マイクロからマクロへの考察」班、優秀賞に、土壌酵母の研究を行った山梨英和高校自然科学同好会が選ばれ、記念品を贈呈しました。

ネットワークフォーラムの最後に、公益財団法人やまなし環境財団の副理事長であり環境パートナーシップやまなしの企画委員である飯窪さかえ氏から、初めてのポスターセッションを試みたが、民間団体・学生・行政も交えて大変効果的な発表ができたのではないかと。森林環境やエネルギー問題などそれぞれの分野で、この指止まれ方式でネットワークを組みながら、県や市などの行政と相まって、行政の政策にひとり一人の意見が生きていくような活動に結びつけていきたいと願っている。本日のポスターセッションを聞いて終わるだけでなく、県の政策に生かしていくよう皆さんの知恵と行動力と熱意とボランティア精神を集結し、環境保全にお力を注いでいただきたい。この効果を必ず来年度に繋げていただきたいとの講評をいただき、閉会となりました。

ネットワークフォーラムに参加していただいた方にアンケートを実施した結果、ポスターセッションが良かった、高校生の発表がとても良かったなどの回答をいただきました。

【ポスターセッション参加者】

- ◆若宮賞受賞者
賀川一枝、梶原照夫、
山城地区市民立共同発電所設置運営委員会
- ◆やまなし環境財団助成団体
のっぽぽ、やまなしどんぐりバンク
- ◆高等学校
北杜市立甲陵高等学校、
山梨英和高校自然科学同好会
- ◆行政
甲府市、南アルプス市



若宮賞表彰式・感謝状贈呈式を行いました

やまなし環境活動推進ネットワークフォーラムの第1部では、公益財団法人やまなし環境財団が、優れた環境保全活動を行っている個人・団体を表彰し、また同財団に寄附をされた団体の方々へ感謝状を贈呈しました。

【若宮賞被表彰者】

＜個人＞ 小澤利明 ・ 賀川一枝 ・ 梶原照夫

＜団体＞ 城南グリーンクラブ ・ 山城地区市民立共同発電所設置運営委員会 ・ (株)ユーシン

【感謝状被贈呈者】

イオンリテール(株)イオン甲府昭和店 ・ (株)ダイエー ・ マックスバリュ東海(株)



[ホームページ](#) [やまなし環境財団](#)

[検索](#)

コラム

字を忘れる

阿刀田 高



「このごろ字を忘れて困るんだ」

とりわけ年を取ると、この悩みが激しい。しかし、よく考えてみると、忘れるのは“漢字をどう書くか”であり、“どう読むか”や意味を忘れるケースは少ない。子どもの頃にさんぎ書取りの勉強をやったはずなのに、このていたらく。

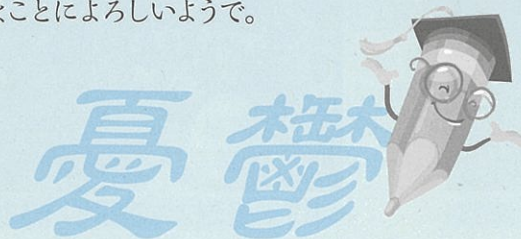
そこで…パソコンなんかはやる今日このごろ。将来の日本は、やたら字の書けない人が増えて「大丈夫かな」と心配になってしまう。

「でも、そばにいつもパソコンがあるから平気じゃないの」という声もあるが、本当にそれでいいのだろうか。漢字を手で書くことは、千年の日本文化を知らず知らずにたどっていること。もしかしたら、とても大切な営みと関わりが深いのではあるまいか。正解がわからないまま時代の超勢はパソコン一色に傾いていくだろう。

「ああ、憂鬱！」と書いて、この鬱という字、「リンカーンはアメリカン・コーヒー3ばい」と覚えるんだってねえ。すなわち“林の間に缶“、そして”ワ“、※は米と考えて、これはアメリカだ。”コ“が横になり、”ヒ“があって、これが“コーヒー”。“彡”が“三”で3ばいを意味する。うまいなあ。えっ「パソコンならポン」と叩けばいいって？

でも、私は一字一字を書くことの大切さを訴えたいと思います。

図書館で書きぞめの展覧会などがあり“春の光”なんて、季節がらまことによろしいようで。



Profile

プロフィール

作家、小説家。

昭和10年東京生まれ。

早稲田大学第一文学部フランス文学科卒業後、国立国会図書館で司書として11年間勤務する。

図書館勤務中から執筆活動を続け、昭和53年『冷蔵庫より愛をこめて』でデビュー。

昭和54年『来訪者』で第32回日本推理作家協会賞、同年短編集『ナポレオン狂』で第81回直木賞受賞。平成7年『新トロイア物語』で第29回吉川英治文学賞受賞。その他、『短編小説のレシピ』『旧約聖書を知っていますか』など著書多数。

最近の著作に『アンブラッセ』（文藝春秋 2015年1月）、『地下水路の夜』（新潮社 2015年4月）、『オトナの言葉の愉しみ方』（三笠書房 2016年5月）、『妖しい関係』（幼冬舎文庫 2016年8月）がある。

国語政策への貢献に対して、平成15年紫綬褒章、平成21年旭日中綬章受章。

平成19年から平成23年まで日本ペンクラブ会長を務める。

平成24年4月に山梨県立図書館館長就任。

平成26年4月に新田次郎記念会理事長就任。

●投稿募集中

【会員紹介コーナー】

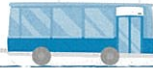
①A5判程度で、原稿と写真等を入れて構成してください。②団体等の名称、所在地（事務局または事務所）、連絡先を必ずお書きください。③内容は、活動紹介やPRなど自由です。④締め切りは特にありません。

【行事予定】

○主催団体名、日時、場所、内容、申込み方法、連絡先等をお教えてください。



【バス協会の活動について】



一般社団法人山梨県バス協会会員事業者は、利用者の皆様に「安心・安全・快適なサービス」を提供するべく、日々努力を重ねております。

そのための協会の主な活動として、ドライバーおよび運行管理者・整備管理者に対しての交通安全教育の実施、運転手・ガイドなどを対象としたサービス向上講習会の実施、国・県等の法律改正や通達等の各社への伝達・指導、貸切バスの安全性向上適正化コンサルティング事業の実施等がございます。



【バス利用で環境にもやさしく】



大きな環境問題のひとつである地球温暖化への影響を抑えるためには、公共交通機関であるバスの利用を促進することも大切です。1台でたくさんの人を運べるバスはエネルギー効率が良く、輸送あたりの二酸化炭素排出量が少ない乗り物なのです。

環境にやさしい低公害車の導入も進んでいます。低公害車には、ディーゼルエンジンとモーターを併用するハイブリッドバスや、二酸化炭素の排出量が少ない天然ガスを燃料とするCNGバス等があります。

バス協会では毎年12月に「やまなし公共交通フェスティバル」への参加を通して、利用者の皆様に環境にやさしいバスの利用を呼びかけています。2016年12月のフェスティバルでもたくさんのお客様にご来場いただき、バスの乗り方教室や低公害バスの展示を楽しみながらバスへの理解を深めていただくことができました。



やまなし公共交通フェスティバル2016



低公害ノンステップバスの展示



CNGバスを使った乗り方教室でバスをもっと身近に



バスvs子どもたちの綱引き！みんながんばれ！



ホームページ

一般社団法人山梨県バス協会

検索

お知らせ

「きれい甲斐」は、送付方法を①郵送、②メール配信、③県ホームページからダウンロードの3種類から選択できます。現在の送付方法から変更を希望される方は、事務局までご連絡ください。

環境パートナーシップやまなし事務局（県森林環境総務課内）

TEL : 055-223-1657 / FAX : 055-223-1636 E-mail: sinkan-som@pref.yamanashi.lg.jp